

製品名: ヒストン H1.0 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00112**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 21 kDa; Observed MW: 28 kDa

抗原情報

遺伝子名	H1-0
別名	Histone H1.0; Histone H1(0); Histone H1.0; N-terminally processed; H1F0; H1FV; Histone H5
遺伝子 ID	3005
SwissProt ID	P07305
免疫原	ヒトヒストン H1.0 の合成ペプチド

背景

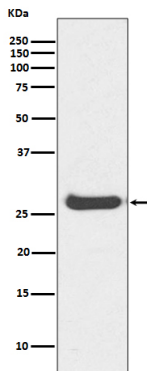
ヒストン H1.0 は、H1 リンカーヒストンファミリーに属するリジンを豊富に含むタンパク質です。H1 ファミリーのタンパク質は、ヌ

クレオソーム間のリンカー DNA と相互作用し、高次クロマチンへの凝縮を媒介します。ヒストン H1 は、ヌクレオソーム鎖の高次構造への凝縮に不可欠です。H1F0 ヒストンは、分化の終末期にある細胞、または細胞分裂速度が低い細胞に存在します。

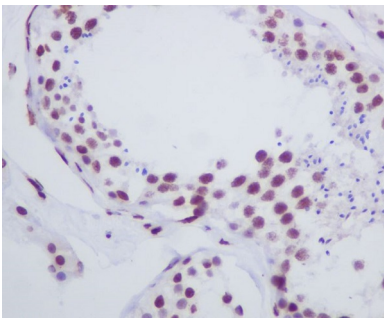
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

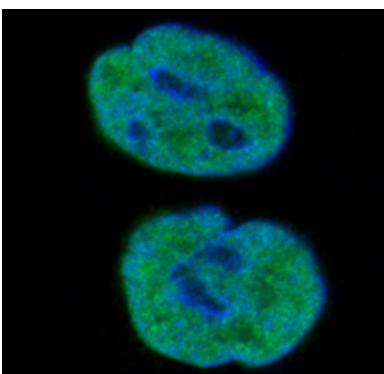
画像データ



ヒストン H1.0 抗体を使用したヒト腎臓溶解物中のヒストン H1.0 のウェスタン ブロット分析。



ヒストン H1.0 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト精巣の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



ヒストン H1.0 抗体を用いた HepG2 のヒストン H1.0 の免疫蛍光分析。